

セスジイトトンボ

Paracercion hieroglyphicum

兵庫県：要調査

環境省： —

種の概要

腹長21～29mm、後翅長13～22mm程度で、黒地に淡色部が、♀は緑色、♂は水色になる。ムスジイトトンボやオオイトトンボと非常に似ている。沖積平野を流れる河川下流部や、その周辺の池沼に生息している。未熟なうちは周辺の草地に潜り込んで生活しており、特に樹林に依存しているようには見えない。速くは4月下旬から現れ、10月に入るまで見られる。一年に二化していると考えられている。産卵基質には沈水植物を好み、カナダモ類が繁茂した池では大発生することがある。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

新規追加種

沈水・浮葉植生の豊かな沖積平野の池沼や河川に生息する。数多く生息している場所もあるが、かつて生息していた場所から姿を消している例が多く、その生息状況を今しばらく調査して確かめる必要がある。

保護上の留意点